



岡山県内経済情勢報告

令和5年4月25日

財務省中国財務局

岡山財務事務所

本調査にかかるお問い合わせ先
財務省中国財務局岡山財務事務所
財務課長 板谷（いただに）
TEL (086) 223-1131 内線 411

1. 総論

【総括判断】「持ち直している」

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	供給面での制約もあって、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	足踏みの状況にある	↘
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	4年度は前年度を上回る見込み	4年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	4年度は減益見込み	4年度は減益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	↘
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↘
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店販売は、旅行需要に加え、卒業式などのセレモニー需要により身の回り品などが好調なことから前年を上回っている。スーパー販売は、物価高騰による節約志向がみられるものの、商品単価の上昇などから前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、手頃感のあるパンやおにぎりが好調なことから前年を上回っている。家電大型専門店販売は、テレビなどが低調なことから前年を下回っている。ドラッグストア販売は、マスク着用の緩和により化粧品が回復していることなどから前年を上回っている。ホームセンター販売は、物価高騰による節約志向がみられることから前年を下回っている。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。

このように、個人消費は、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 【百貨店】旅行需要に加え、卒業式などのセレモニー需要によりアクセサリーやジャケットなどの売れ行きが好調なほか、マスク着用の緩和から口紅など化粧品の売上が回復している。
- 【スーパー】物価高騰により買上点数が減少するなど節約志向が見られるものの、商品単価の上昇に加え、節分やバレンタインなどの季節イベントが好調であったことから売上が前年を上回っている。
- 【コンビニエンスストア】インバウンドも徐々に見られるなど、人流増加に伴い客足は増加傾向で、物価高の影響から手頃感のあるパンやおにぎりが好調となっている。
- 【ドラッグストア】マスク着用の緩和により化粧品の売上が回復しており、足もとでは花粉症対策で鼻炎薬などが好調となっている。
- 【乗用車販売】供給制約の影響が大きかった前年の反動や、自動車メーカーが輸出向け生産を国内向けに振り分けていることから、売上は大幅に前年を上回っている。
- 【商店街】人流は増加したが、物価高による節約志向の影響もあって、売上増加には至っていない。GWは通常通りにイベントを開催する予定であり、イベント効果に期待している。
- 【専門店】全国旅行支援などによる人流増加や商品値上げにより売上が大幅に増加し、コロナ禍前の水準を上回っているが、今後、物価高騰による購買意欲の低下を懸念している。

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

化学は、海外需要などに弱い動きがみられることから減少している。鉄鋼は、建材向けの需要に弱い動きがみられることから減少している。電気機械は、中国向けの電子部品需要に弱い動きがみられることから減少している。自動車は、供給制約の影響が和らいでいることから増加している。石油精製は、国内外ともに需要が堅調なことから増加している。造船は、新規受注の獲得により増加している。工作機械は、自動車向けの需要が回復していることから増加している。

このように、生産活動は、足踏みの状況にある。

- 【化学】中国など海外需要が減少しているほか、家電製品需要の低迷により全体の稼働率は8割に留まっている。
- 【鉄鋼】船舶向けの需要が堅調であるものの、資材高騰により新規住宅着工戸数が伸び悩んでいることなどから建築・土木向けが弱い動きとなっている。
- 【電気機械】中国の景気減速の影響などから電子部品の受注が減少している。
- 【自動車】供給制約が幾分か緩和されたため、挽回生産を行っている。
- 【石油精製】国内向けは、航空需要の回復などから移動用燃料需要が引き続き堅調であり、海外向けも市況の上昇で軽油などが好調となっている。

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

雇用情勢は、卸売・小売業の求人数が増加していることから、緩やかに持ち直している。

- 【職業紹介】物価上昇による企業収益の悪化から求人を抑える動きがあるものの、新規出店による卸売・小売業の求人数が増加している。
- 【宿泊・飲食サービス】定年退職する従業員の補充ができていない一方で、全国旅行支援により宿泊客が増加しているため、人手不足が一層深刻になっている。

■ 設備投資 「4年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 製造業では、木材・木製品で大型投資の反動減がみられるものの、鉄鋼、繊維工業などで生産能力の増強投資がみられることから、前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、卸売、小売で店舗新設や老朽化による店舗建替えなどがみられるものの、運輸・郵便で大型投資の反動減がみられることなどから、前年度を下回る見込みとなっている。

- 【鉄鋼】製品需要が増加していることから、増産対応や品質向上のための投資を実施する予定。
- 【自動車】環境配慮型車向けの部品需要が伸びていることから、増産に向けてラインを増設する予定。
- 【運輸・郵便】前年度は倉庫の建て替えなどの大型投資を行ったが、今年度は維持更新が主な内容となっている。

■ 企業収益 「4年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 製造業では、自動車向けの需要回復や価格転嫁の進展を見込む金属製品などで増益見込みとなるものの、需要の減少を見込む木材・木製品、海外向け需要の減少を見込む情報通信機械などで減益見込みとなっている。
- 非製造業では、資材価格の上昇を見込む建設などで減益見込みとなるものの、全国旅行支援による客足の回復を見込む宿泊・飲食サービスなどで増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、翌期は「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅や持家などが減少していることから前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

- 輸出は、品目別では石油製品や鉄鋼などが増加していることから前年を上回っている。地域別では、アジアなどで前年を上回っている。

岡山県内経済情勢報告

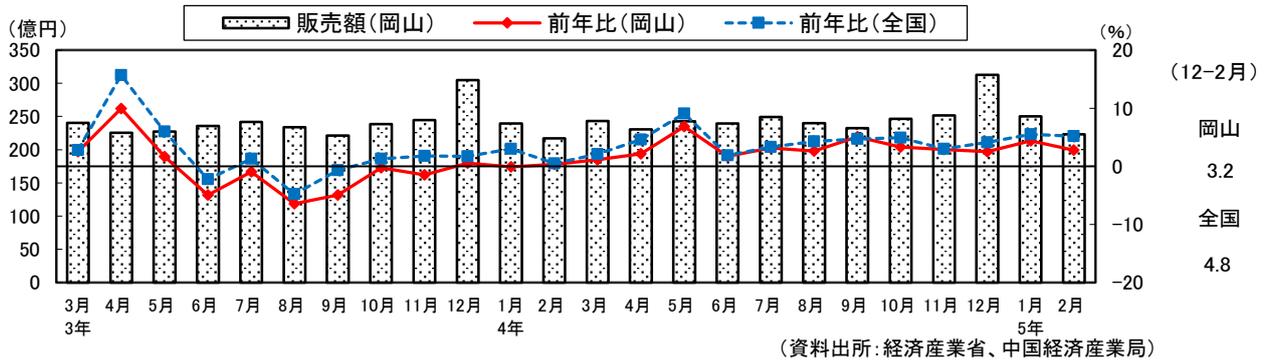
資料編

	目次	ページ
1.	個人消費.....	1
2.	生産活動.....	3
3.	雇用情勢.....	4
4.	設備投資.....	5
5.	企業収益.....	5
6.	企業の景況感.....	5
7.	住宅建設.....	6
8.	輸出.....	6

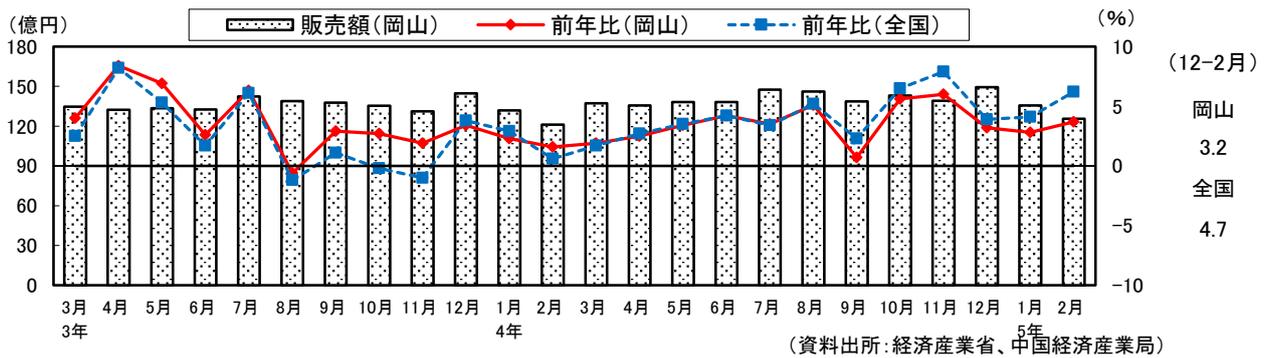
※グラフの外枠（右側）に記載している計数は、各項目の状況を分析する上で参考とした前年比、指数、倍率。

1. 個人消費 持ち直している

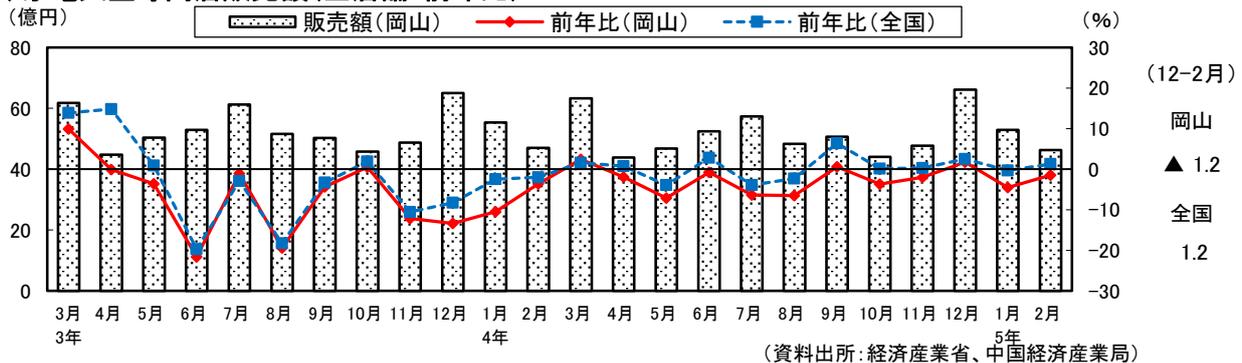
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗:前年比)



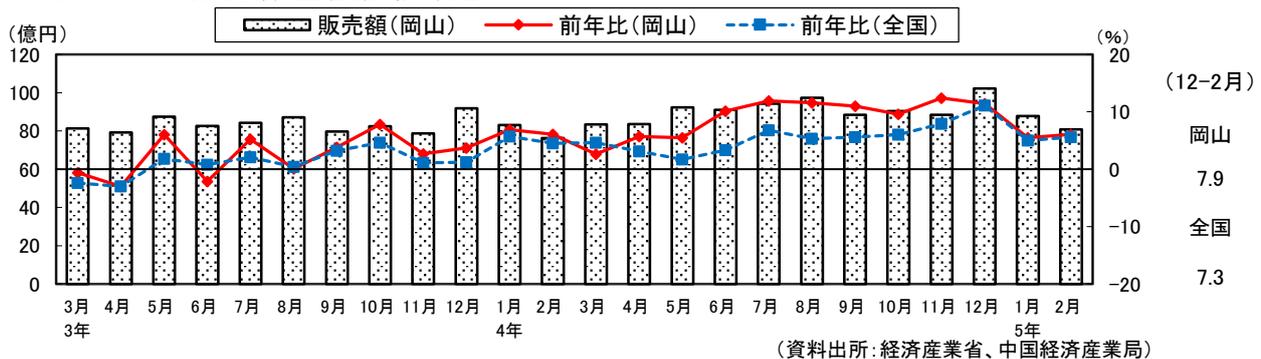
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗:前年比)



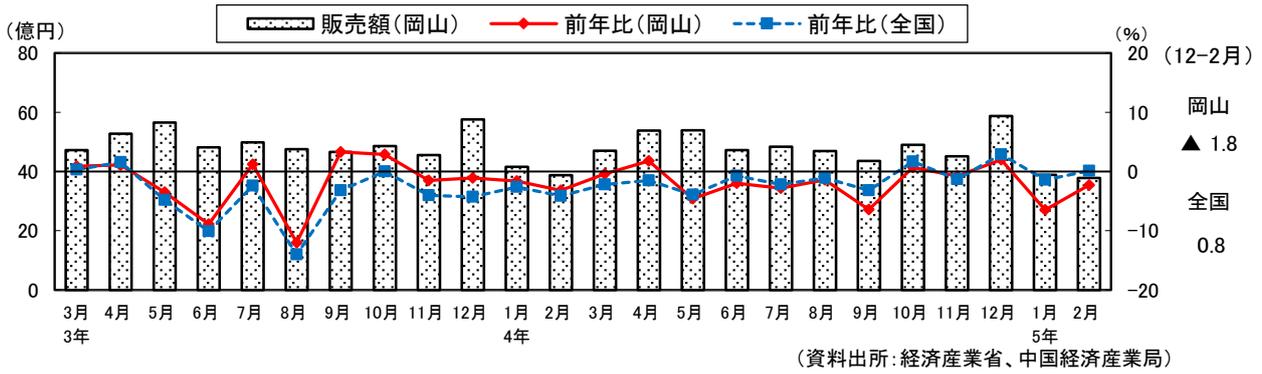
(3) 家電大型専門店販売額(全店舗:前年比)



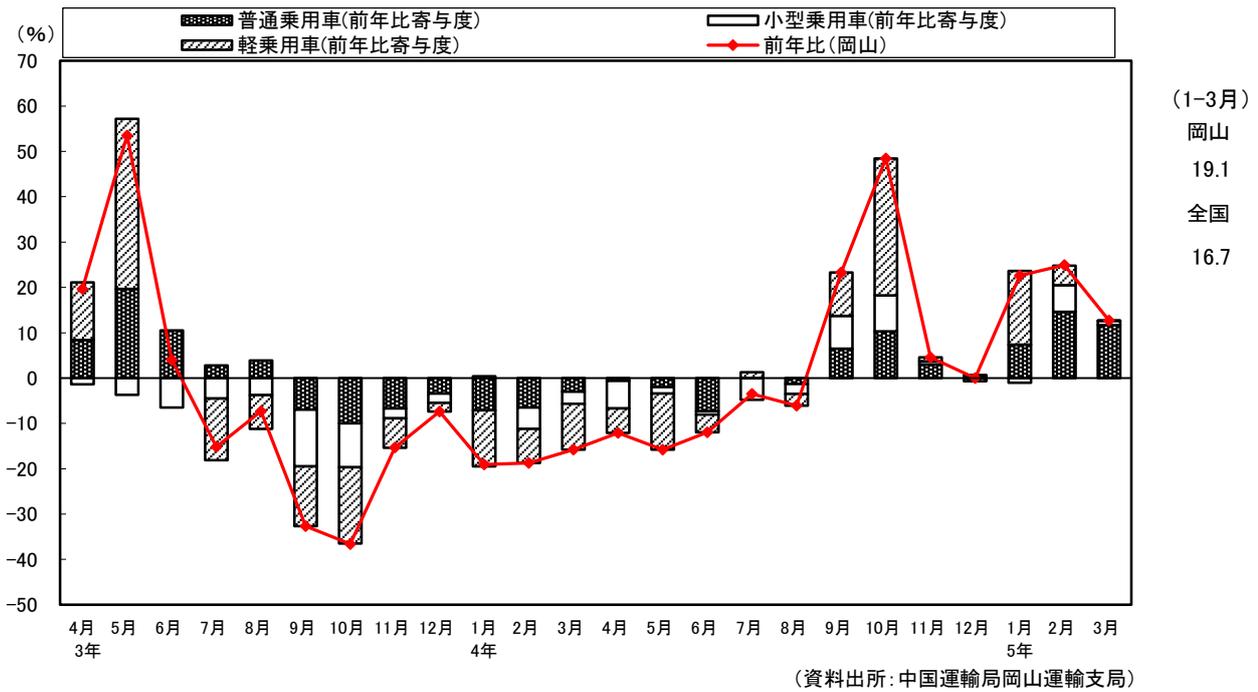
(4) ドラッグストア販売額(全店舗:前年比)



(5) ホームセンター販売額(全店舗:前年比)

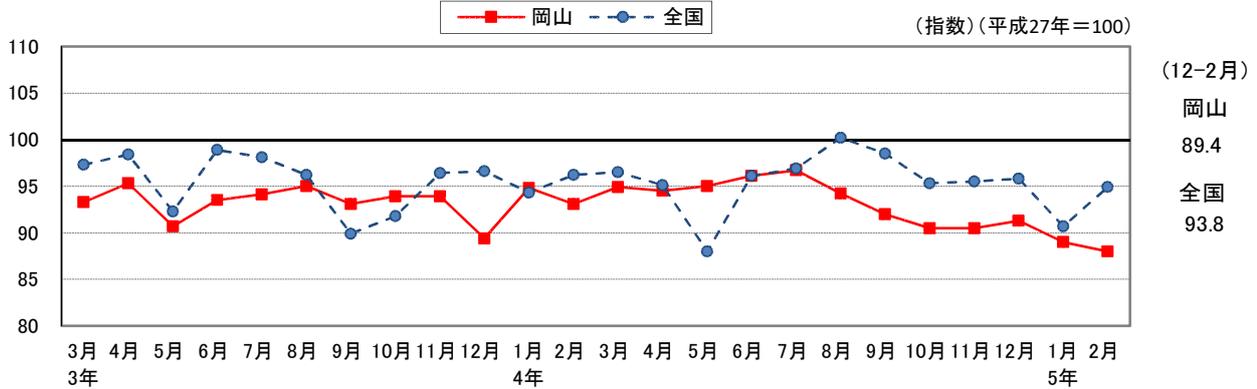


(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

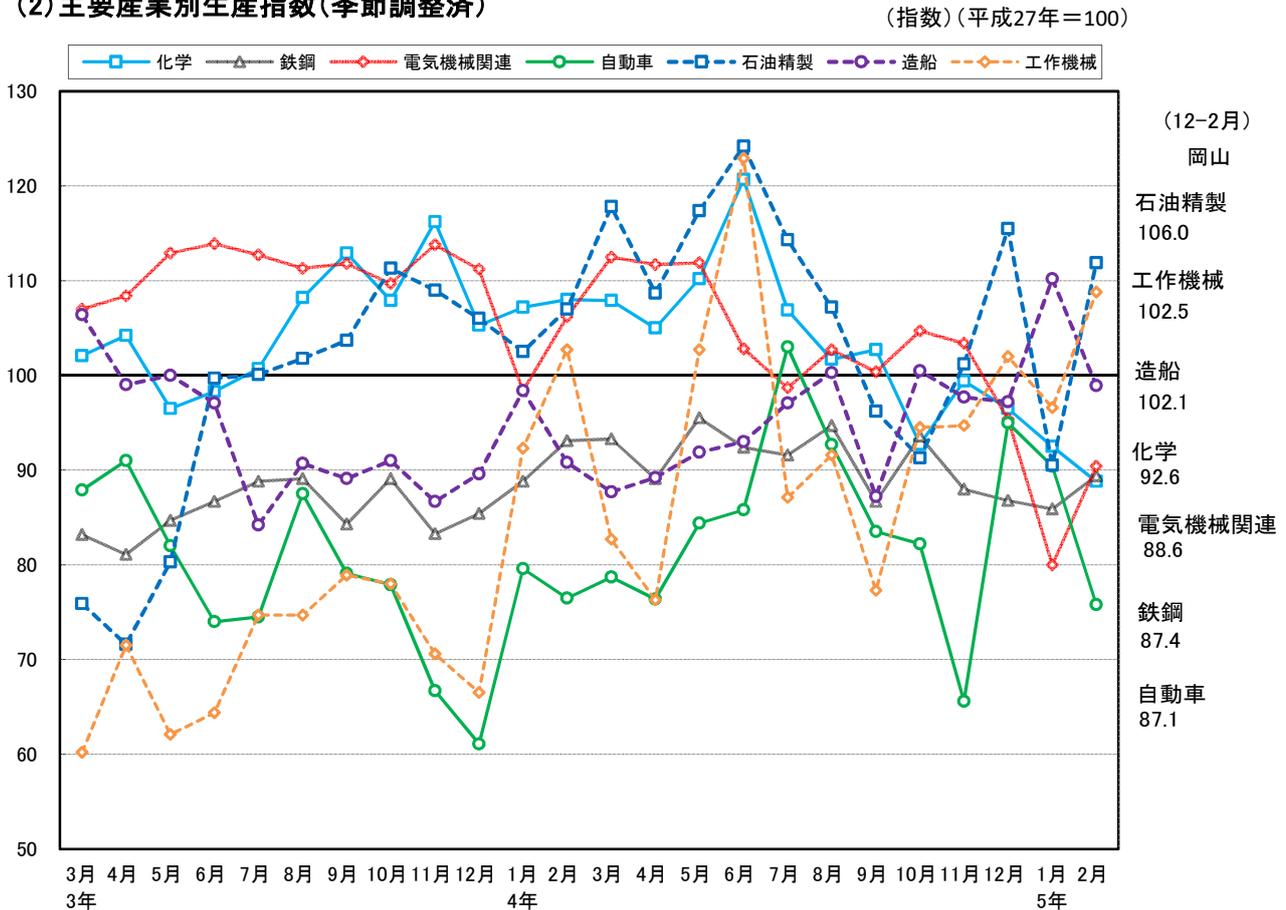


2. 生産活動 足踏みの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整済)

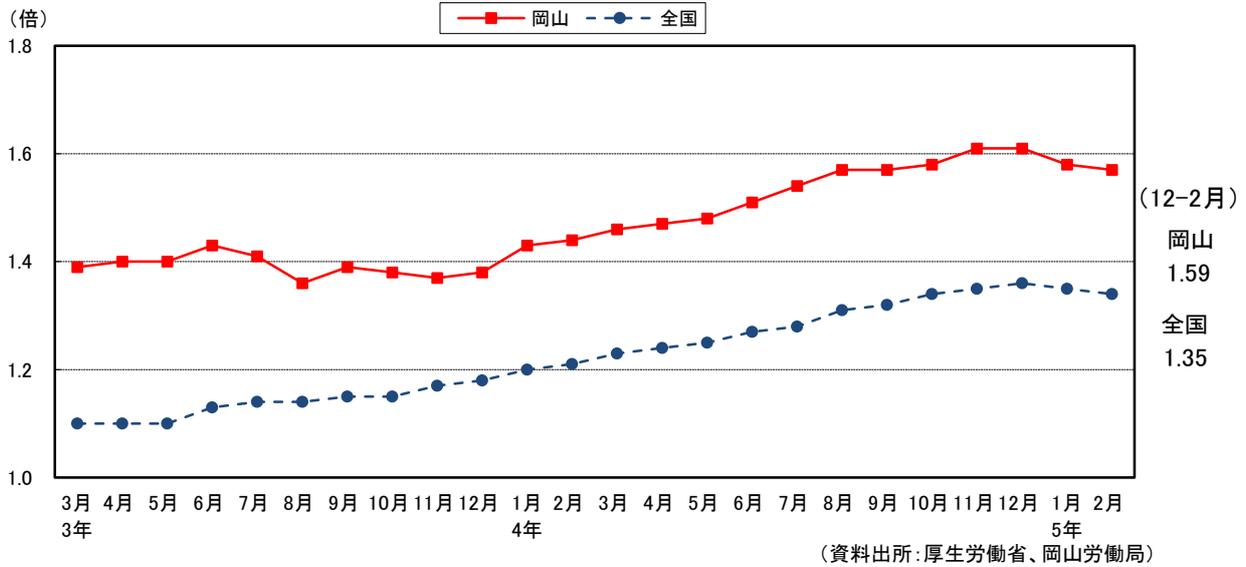


(2) 主要産業別生産指数(季節調整済)

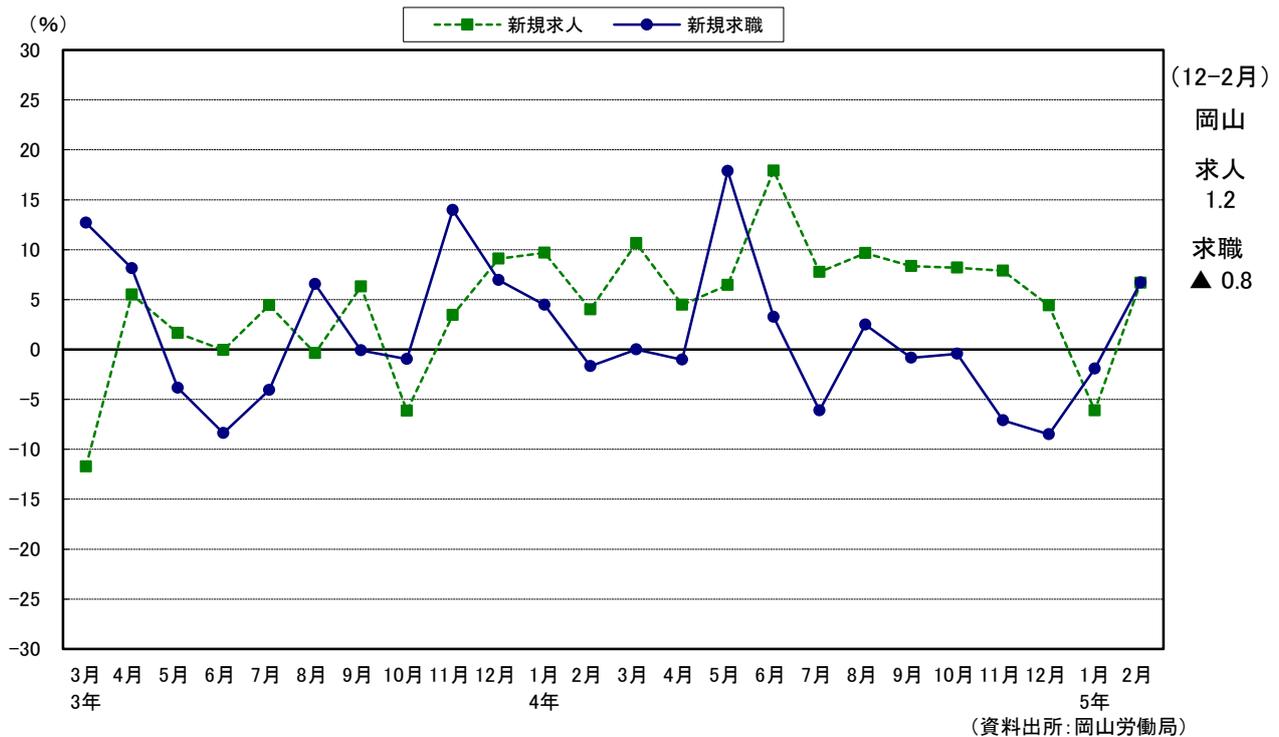


3. 雇用情勢 緩やかに持ち直している

(1) 有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)



(2) 新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4. 設備投資 (除く土地、含むソフトウェア投資) 4年度は前年度を上回る見込み

(前年度比増減率: %)

設備投資	全産業		製造業		非製造業	
	()	()	()	()	()	()
4年度	(25.0)	15.0	(38.5)	27.7	(▲3.3)	▲ 11.5
5年度		46.0		48.7		32.9

(注)当所法人企業景気予測調査(5年1~3月期)結果
()書きは前回(4年10~12月期)調査結果

(資料出所:岡山財務事務所)

5. 企業収益 (電気・ガス・水道業及び金融業・保険業を除く) 4年度は減益見込み

(前年度比増減率: %)

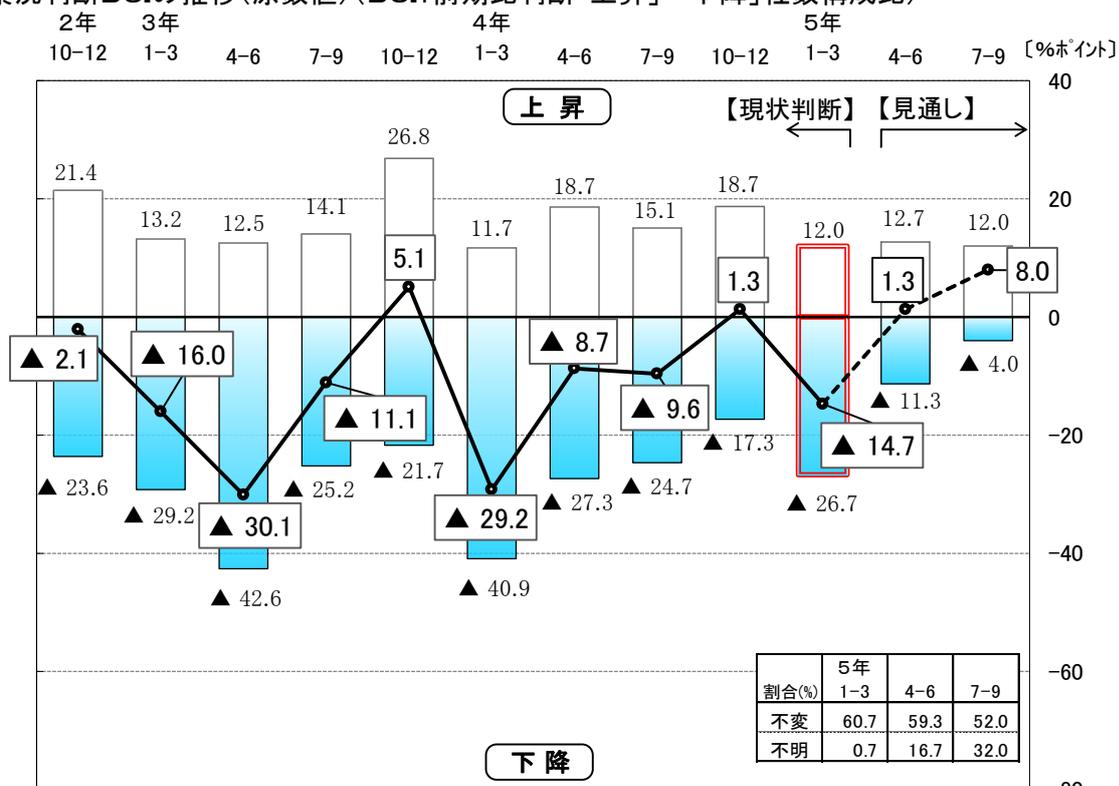
経常利益	全産業		製造業		非製造業	
	()	()	()	()	()	()
4年度	(▲6.8)	▲ 7.8	(▲11.7)	▲ 15.0	(6.0)	11.6
5年度		▲ 20.7		▲ 21.6		▲ 12.7

(注)当所法人企業景気予測調査(5年1~3月期)結果
()書きは前回(4年10~12月期)調査結果

(資料出所:岡山財務事務所)

6. 企業の景況感 「下降」超に転じている

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

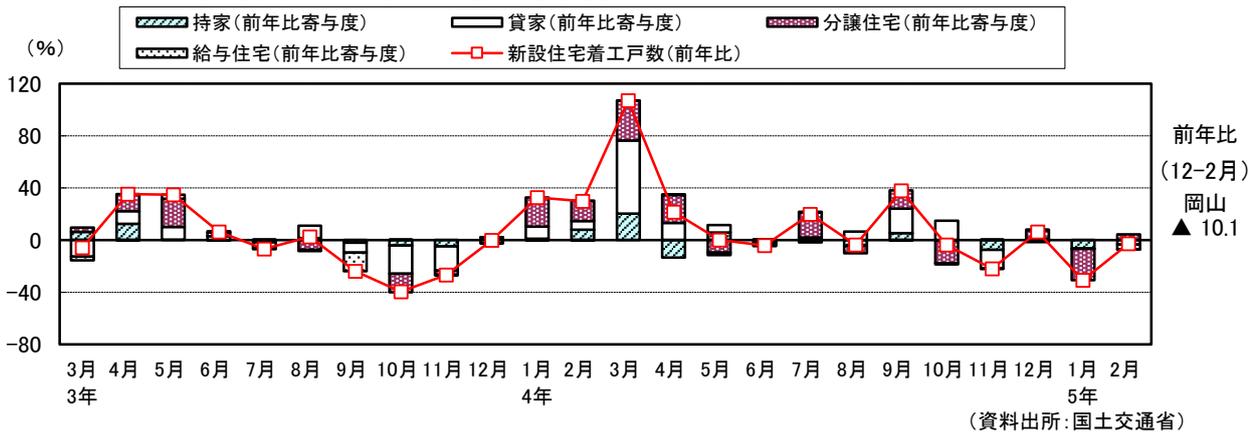


(注)当所法人企業景気予測調査(5年1~3月期)結果

(資料出所:岡山財務事務所)

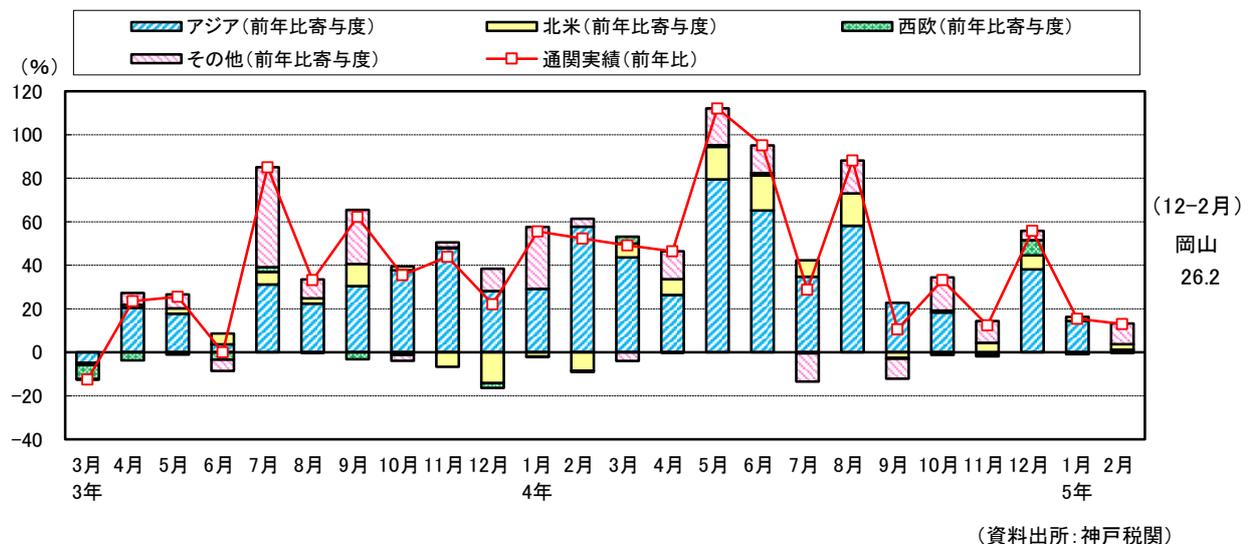
7. 住宅建設 前年を下回っている

新設住宅着工戸数(前年比及び利用形態別寄与度)



8. 輸出 前年を上回っている

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

